



マブチグループ 社会・環境報告書 2020

Actuating Your Dreams



マブチグループ 社会•環境報告書 2020

CONTENTS

会社概要	1
CEO MESSAGE	3
特集「マブチグループの価値創造」	4
コーポレートガバナンス	9
コンプライアンス	10
リスクマネジメント	11
教育支援活動	13
地域支援活動	15
社員とともに	16
環境マネジメント	19
CSR調達	20
環境保全の取り組み	21
環境コミュニケーション	22
ESG DATA	23

会社概要

マブチモーター株式会社 商号

MABUCHI MOTOR CO.,LTD.

創立年月日 1954年1月18日

事業内容 小型モーターの製造販売

資本金 207億481万円

代表者 代表取締役社長CEO 大越博雄 本社:849名 グループ:22,061名 従業員数

(2019年12月末現在)

連結業績 売上高 131,807百万円

> 営業利益 17,544百万円

親会社株主に帰属する当期純利益 14,234百万円

(2019年12月期)

所在地 (本社) 〒270-2280 千葉県松戸市松飛台430番地

Tel: 047-710-1111 (代表)

(技術研究所) 〒270-2293 千葉県印西市竜腹寺280番地

Tel: 047-710-1222 (代表)



地域とともに環境共生を目指す本社

編集にあたって

マブチグループは、本報告書を通して、企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、すべてのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを更に充実させることで、より良い今後の活動を目指してまいります。なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化(PDF)した報告書をホームページに掲載しております。

対象期間 : 2019年1月1日~2019年12月31日 (期間外のものは別途日付を記載)

対象範囲: モーターの設計、生産、販売、及びサービスの提供に関わる社会的な取り組みと環境活動の内容

対象組織 : マブチグループ

日本

マブチモーター株式会社(本社)

北・中南米

MABUCHI MOTOR AMERICA CORP. (アメリカマプチ)
MABUCHI MOTOR MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコマプチ)

欧州

MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH (ヨーロッパマプチ) MABUCHI MOTOR POLAND sp. z o. o. (ボーランドマプチ)

中国・アジアパシフィック

萬寶至實業有限公司(香港マブチ)

万宝至(上海)管理有限公司(マブチモーターチャイナ)

万宝至(上海)管理有限公司深圳分公司(マブチモーターチャイナ深圳分公司)

万宝至馬達大連有限公司 (大連マブチ)

万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)

万宝至馬達(東莞)有限公司 (東莞マブチ)

万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)

万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)

東莞道滘万宝至馬達有限公司 (道ジャオマブチ)

万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)

万宝至精工部件(江門)有限公司(江門マブチ)

華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)

萬寶至馬達股份有限公司 (高雄マブチ)

MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポールマブチ)

MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD. (ペトナムマブチ)
MABUCHI MOTOR DANANG LTD. (ダナンマブチ)

MABUCHI MOTOR KOREA CO., LTD. (韓国マプチ) MABUCHI MOTOR (THAILAND) CO., LTD. (タイマプチ)

ヨーロッパマブチ 🛑 江蘇マブチ ターチャイナ マブチモーターチャイナ 大連マブチ アメリカマブチ 深圳分公司 瓦房店マブチ 東莞マブチ・ 韓国マブチ 道ジャオマブチ 本社●● 路東マブチ 江西マブチ メキシコマブチ 江門マブチ 香港マブチ 台湾マブチ タイマブチ 販売拠点 高雄マブチ 生産拠点 シンガポールマブチ - …販売機能を含む ダナンマブチ ●…開発機能を含む ベトナムマブチ …その他機能を含む (2020年2月末日現在)

CEO MESSAGE



次の10年、更なる将来へと 持続可能な社会に貢献

代表取締役社長 CEO

大越博雄

将来予測が難しいということを表現するVUCA*1やバックキャスティング*2という単語を耳にする ことが多くなりました。このような"将来予測が難しい、今までのやり方が通用しない"状況で、 SDGsの目標達成時期として掲げられている2030年まであと10年を切りました。

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる良質で安価な動力を つくりたいとの思いを胸に誕生しました。その後の技術革新やグローバリゼーションの進展に合 わせて当社の用途市場の構成も大きく変わり、現在では自動車電装機器用途向けの販売が7割以上 を占めるようになっています。しかし、小型直流モーター専業メーカーとしての使命は、創立66 周年を迎えた今日でも変わりはありません。当社は、より良い製品を安定的に提供し、人々の暮 らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをすることで、現代社会が直面している様々な課題 において、モーターという製品を通じて事業活動を継続し、社会に貢献してまいります。 マブチグループのすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその 継続的拡大』の実践は、持続可能な社会の実現に向けた価値創造そのものです。当社は、社会的 な課題を事業活動に落とし込み、ステークホルダーの皆様からのご意見、ご要望を受け止め、次 の活動へと活かしています。こうしたPDCAサイクルをマブチグループの経営において継続してい くことが重要だと考えております。次の10年、更なる将来へ向けた活動を推進するため、当報告 書の特集「マブチグループの価値創造」にてその想いをお伝えしていますので、ご覧いただけま すと幸いです。

当社は不変の経営理念のもと、マブチグループが一丸となり、様々なステークホルダーの皆様と ともに、社会が抱える課題の解決に向けた事業活動を積極的に継続してまいります。今後も、よ り一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

^{* 1:}VUCA = Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性の頭文字を取った言葉

^{* 2 :} バックキャスティング = 未来を起点として、そこから逆算して、今何をすべきかを考える手法

特集 マブチグループの価値創造

マブチグループのすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念は、1964年にその概念が定まり、1971年に現在の経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』として制定されました。その実践は、これからも変わることなく持続可能な社会の実現に向けた価値を創造します。

この「経営理念」には、社会に対する貢献度を高め、世の中のために無くてはならない企業であり続けたいという想いが込められています。すべての社員が「企業の一員として仕事を通じて社会貢献に参画すること」、「人間だけではなく自然や環境、その他万物すべてを大切に思い、物質的な豊かさのみにとらわれない心の充実を得ることによって人間的な成長を遂げること」を掲げています。いわば、「経営理念」は企業経営を行う上での根本的な思想であると同時に、マブチの遺伝子として未来永劫に受け継がれていく思想でもあります。

今回の特集では、マブチグループがこれまで取り組んできた「経営理念」の具現化に向けた活動と、事業活動を通じて果たすべき大きな使命とは何かをご説明いたします。経営基軸を基にESGの観点で、SDGsの達成を支援していく上での取り組みとの関連性とともにまとめています。

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

- 1. より良い製品をより安く供給することにより、 豊かな社会と人々の快適な生活の実現に 寄与する
- 2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術 移転を行い、それらの国の経済発展と国際 的な経済格差の平準化に貢献する
- 3. 人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
- 4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う



L

SDGs達成に向けた取り組み

マブチグループは、SDGs (持続可能な開発目標)を、人を大切にしながら、経済的にも成長できる目標と捉えています。その達成に向けて、各々の目標に対して、社会・環境への積極的な取り組みを継続していきます。

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で 採択された、より良い世界を目指す国際目標であり、マブチグル 17の目標と各目標を達成する169のターゲットから構成される。

SUSTAINABLE GOALS



マブチグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2030年までに目標を達成するためには、企業も含めたすべての国とすべての人による行動が求められています。

経営基軸1、より良い製品をより安く供給することにより、 豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する















モーター専業メーカーとして、環境に配慮したより良い製品によって価値を創造してまいります。

環境に配慮した高品質な製品を安定的に供給し、お客様の最終製品における小型・軽量化や省電力化によって、社 会全体の省資源・省エネルギー化に貢献しています。

人々の暮らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをすることこそ、モーター専業メーカーの使命ととらえ、 モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げています。マブチグループは、様々な用途のモーター をご採用いただくことで、暮らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをしています。

新製品紹介



パワーウインドウ用モーター GD-538LA/RA、GD-548LA/RA



GD-548LA

新製品のGD-538LA/RA及びGD-548LA/RAは、近年の自動車電装 機器市場における、小型・軽量化、高トルク化を継続的に追求し、 車体の軽量化による燃費の向上に寄与することで、環境負荷低減 に貢献しています。

【製品の特長】

- 1. 小型・軽量化、高トルク対応 (GD-538LA/RAはシリーズ最小・最軽量)
 - ・GD-538LA/RAは、磁気回路の見直しにより、従来製品※1と同等 トルクでサイズ13%、重量18%の小型・軽量化を実現
 - ・GD-548LA/RA ヨークの長さの変更により、従来製品*1 比で 13%軽量ながら33%のトルク向上を実現
- 2. センサーレスシステムへの対応

電流リップル制御式のセンサーレスシステム、またはセンサー タイプの選択が可能※2

3. コネクターの変更が可能(オプション)

コネクター部を出力軸/反出力軸側どちらにも取り付けることが 可能

※1 従来製品: GD-558LE/RE ※2 GD-538LA/RAとGD-548LA/RA ともに対応可能



自動車電装用モーター SF-266XA



-266XA



新製品のSF-266XAは、従来製品※3と同様に、近年の自動車電装 機器分野において求められる静音化や小型・軽量化等の特長を維 持しながら、トルクを約2倍に向上しております。これまでの必 要トルクに対して体積・重量が半分となるため、車体の軽量化、 静音性の向上に寄与します。

【製品の特長】

- 1. 小型・高トルク
 - ・当社が強みを持つ磁気回路の最適設計を更に進化させることで、 当社従来製品 ※3と同等の体積・重量を維持しながらトルクは約 2倍に向上
 - ・同等トルク製品※4に比べ、体積・重量は約1/2を実現

・当社の独自技術により、同等トルク製品※4と比べて機械ノイズ、 振動を低減し、高い静音性を実現

※3 従来製品 SF-266SA ※4 同等トルク製品 : RS-385PH

現在の主な用途は、 シフト・バイ・ワイヤです。



経営基軸 2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、 それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する





に貢献します。



























世界中の多様な人々とともに、グローバルな企業活動によって価値を創造してまいります。

グローバルな事業展開による諸外国への貢献

マブチグループは1964年に初めて海外へ進出を果たしてから、一貫してグローバル視点での企業活動を重視してきました。現在は、地産地消を実現するグローバル体制を確立し、グローバルに事業展開を行うことで、進出国での雇用を生み出しています。加えて、従業員の所得が増加することで生活水準の向上にも寄与し、それらの国の経済発展



マブチグループの海外展開は、現地への技術移 転を進めると同時に、現地生産に必要な原材料、 部品、包装材の生産といった周辺産業の活性化 にも貢献しています。

いち早く現地化を進めてきたこれらの活動は、 今後も変わることなく、それぞれの国・地域の 経済発展を促進していきます。

明るい未来を創り出すために

少子化による労働力不足から、労働環境の悪化や健康被害が懸念されています。また、高齢化が進み、医療・介護分野ではこれまで以上に労働力と補助機器の必要性が高まります。マブチのモーターが、アシストスーツや移動体などに使用されることで、わずかな力で強い動力を得ることができ、同様にAGV*や生産オートメーション機器に使用されることで、

人々が重労働から解放され、健康を犠牲にしない労働環境が 実現します。結果として、新たな製品や価値を生み出すもの と考えています。

働き方改革や、ワーク・ライフ・バランスが重視される時代へと変化しています。その中、家事の負担を軽減するお掃除ロボットをはじめ、マブチのモーターが搭載された家電機器によって、身体的負担の軽減や時間の有効活用が実現していきます。このように、世界の一人ひとりが充実した毎日を過ごし、精神的な余裕を持つことができる便利で快適なより良い社会を創出していきます。

持もの

※AGV = Automated Guided Vehicle (無人搬送車)

経営基軸3.人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、 社会に役立つ人を育てる























社員全員が、仕事を通じて社会に役立つことによって価値を創造してまいります。

世界中の人々が活躍できるために

マブチグループは、グループ全体におけるダイバーシティを積極的に進め、マブチグループの 社員が国や地域に限定されることなく、世界中で活躍できる人事体制の構築に取り組んでいます。国籍や性別を問わない採用や登用について進めてきた結果、マネジメントの現地化が進み、近年ではグループ会社間の人材異動も推進するなど、世界の各地域における人材活躍を展開しています。すべての社員に教育と活躍の機会を提供することで、社員全員がグローバル感覚とともに特長を活かし、新しい価値を生み出しています。

未来を担う学生・子供たちへの教育支援

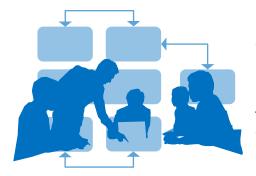


マブチグループの社員は、未来を担う学生や子供たちの成長をお手伝いするため、教育支援活動を通じて「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝えています。この教育支援活動は、学校教材用のモーターの製造や中国大連市の小学校建設支援などから始まり、今後もその役割を忘れることはありません。ロボットコンテスト・出前授業・工作教室・職場体験などを通じ、世界中の若者や子供たちに学びと創造の楽しさを継続して広めていきます。

永続的に安定した経営を行い、すべてのステークホルダーの皆様への責任を果たすことで、 価値を創造してまいります。

ガバナンス体制の強化

適正利益の創出と企業価値の向上を通じて、株主様をはじめとするすべてのステークホルダーの 皆様への利益に継続的に貢献することは、企業としての重要な責任です。そのためには、適切な コーポレートガバナンス体制を整備し、運用、強化していくことが不可欠です。



マブチグループは、業績向上による株主様への責任をはじめ、お客様への製品の供給や、雇用の継続による社員への責任などを果たし、永続的に安定した経営を行っています。このためには、コンプライアンスの徹底により、倫理を欠いた活動を根底から排除し、監視機能を有効に働かせ、ガバナンス強化を徹底していきます。あらゆるリスクを想定したリスクマネジメント活動を通じ、社会的な信頼を獲得し、社会にとって無くてはならない企業として存続していきます。

経営基軸4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う































地球環境を念頭においた企業活動によって価値を創造してまいります。

製品性能の向上による省エネルギー化の実現

現在、マブチのモーターの7割以上は自動車電装機器用途に採用されています。自動車にはより便利さや快適さが求められ、世界中で自動車に搭載されるモーターは益々増加しています。



一般的なガソリン・ディーゼルエンジンのエネルギー変換効率が30~40%程度と言われている中で、当社製品の中にはエネルギー変換効率が90%を超えるモーターも実現しています。今後もグループ全体でモーターの省電力化・高効率化・小型軽量化を実現し、効率の良い直流モーターを更に進化させることで自動車の環境対策に継続的に貢献してまいります。このような企業活動の結果として地球環境と人々の健康を守ってまいります。

開発、生産効率の向上による資源保護の実現

マブチグループは、より効率の良い設備・機器の導入や、負荷物質を使わない工程への改善により、CO2の削減や環境汚染の防止、資源の保護に継続して積極的に取り組んでいます。また、グループ全体での生産活動において、電力・水・資源を適正に使用するよう徹底した管理を行っています。

環境への高い意識と取り組み

環境への対応は、現代社会において、最優先で取り組まなくてはならない世界各国・全企業共通の課題です。

マブチグループでは、製品や生産活動において、省エネルギーの推進、環境負荷物質の低減に取り組むほか、グループ全体で環境保護を目的とした活動や教育を継続して行い、社員の意識を高めています。



マブチグループの標準化戦略は、高性能・高品質・リーズナブルな価格のモーターをご提供します。加えて、その生産過程での部材の使用や金型・設備の製作において水平展開により無駄を削減することで、限りある自然資源を保護することを可能にしています。

➤ 巻末のESG DATAもご覧ください。

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス強化は経営に欠かせないものであると考え、コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づき、透明性の高いガバナンス体制を構築しています。

基本的な考え方

マブチグループは、小型モーター事業を通じた「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ当社の存在意義があるものと認識しております。当社のコーポレートガバナンスは、この経営理念の実現をサポートする機関設計、経営管理体制、及びそれを維持するための経営上の諸施策からなります。したがって、適切なコーポレートガバナンス体制を整備し、運用する基本的な目的は、適正利益の創出と企業価値の向上を通じて、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様の利益に継続的に貢献することであります。上場企業としてのコーポレートガバナンスについては、次のような体制を構築、維持することが不可欠であると考えております。

- ・経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分 をもって行われ、責任の所在が明らかであること
- ・適切な内部統制システムが構築され、運用されていること
- ・株主と利益相反のない独立役員が相当数選任され、 経営監視機能の客観性及び中立性が確保されている
- ・企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的 公平性を支え、すべてのステークホルダーの皆様からの 信頼と期待に応える基本である、という認識が企業文 化として、全従業員によって共有されていること
- ・株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に対し、適正、公平、適時かつ明瞭に企業情報の開示が行われ、取締役会及び監査等委員会によるアカウンタビリティが確保されていること

体制・システムの構築

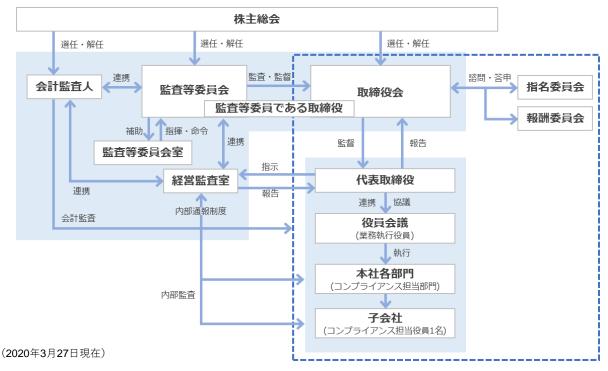
当社は、取締役会における監督機能の強化、業務執行決定権限の一部を取締役へ委任することによる経営の意思決定の迅速化を図るため、2019年3月28日付で監査等委員会設置会社へ移行いたしました。また、取締役会の任意の諮問機関として、指名委員会・報酬委員会を設置しております。

当社は、小型直流モーターのパイオニアとして、常に独自の製品・技術の開発と経営組織・管理体制の整備に注力するとともに、差別化を実現し成長を遂げてまいりました。加えて、継続的にコーポレートガバナンスの強化・充実を図り、経営・業務執行体制と実践的な内部統制システムを構築し、効率的なグループ経営を実現してまいりました。

具体的には、高い独立性と経営者としての豊富な経験を有する社外取締役を設置するとともに、やはり高い独立性と専門性を有する監査等委員である取締役を含む監査、経営(内部)監査、品質システム監査等の内部監査及び独立会計士監査など多面的な経営監視体制を構築し、実効化することで、経営組織の秩序を維持し、グループ全体で、適切なリスク管理やコンプライアンスを実現しております。

当社は、このようなコーポレートガバナンス体制を構築・採用することにより、経営の効率化と透明性を確保しておりますが、今後とも、当社の事業特性に適した体制のあるべき姿を継続的に追求してまいります。

コーポレートガバナンス体制(模式図)



コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると 同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。 社員 一人ひとりが理解して遵守すべく、コンプライアンス体制を強化 しています。

マブチモーター倫理規範

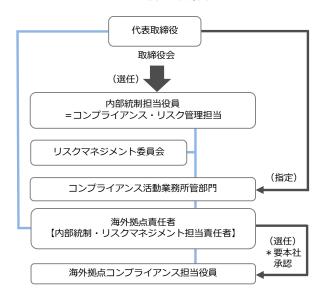
マブチグループは、『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現にあたっては、各国の法規制を守ることはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った活動を行うことが大前提であると考え、「マブチモーター倫理規範」を制定し、すべての役員・社員が守るべき法令等の社会ルールを具体的に示すことで、その浸透を図っております。

海外生産拠点においても、必要とされるコンプライアンス教育活動を継続しており、今後も法規制及び社会規範の遵守に関する様々な説明会や研修を実施し、コンプライアンス経営の確立を目指しています。

マブチグループ全拠点に設置されたコンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、それぞれの拠点における責任者として、拠点内の内部統制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担っています。



コンプライアンス体制



内部監査部門は、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、マブチグループ全体のコンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

会社資産の取り扱い

会社の設備、備品、情報機器などの資産が紛失したり、 盗難にあったり、不正に使用されないように、適切に保 護管理いたします。

反社会的勢力の排除

マブチグループは、企業の社会的責任の観点から、断固として、これら勢力とは関係を持ちません。

信頼性のある財務報告とインサイダー取引の 禁止

マブチグループは信頼性のある財務報告を行うとともに、 会社の未公表の重要事実を不正使用しません。

納税義務

企業の活動は、道路・水道・港湾など、その国・地域の 社会基盤の基に営まれています。これら社会基盤の多く は、個人や企業が納める税金によって整備・維持されて います。したがって、各国・地域の法令に基づく納税義 務を適正に果たすことは、企業にとって最も基本的な責 任の一つであることをグループ全体での共通の考え方と しています。

贈収賄の禁止

マブチグループは、政治団体、政治家、公務員、お客様、 サプライヤー様等に対して、違法な便宜や金品などの利 益提供または受領を行いません。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート(上司や組織部門の窓口など)とは別に、内部監査部門が管理する、匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

マブチグループは、お取引先様とも日頃から誠実で公正 なお取引と相互信頼関係の構築に努めており、問題発生 の未然防止並びに拡大防止体制を強化するために、「倫理 規範ホットライン」の対象範囲を社員のみならず、お取 引先様の一部に拡大しています。

また、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を 発生させないことを約束するトップメッセージを発信し ています。

リスクマネジメント

グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を確実なもの にするため、多様化する事業活動上の様々なリスクの軽減・最 小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組ん でいます。

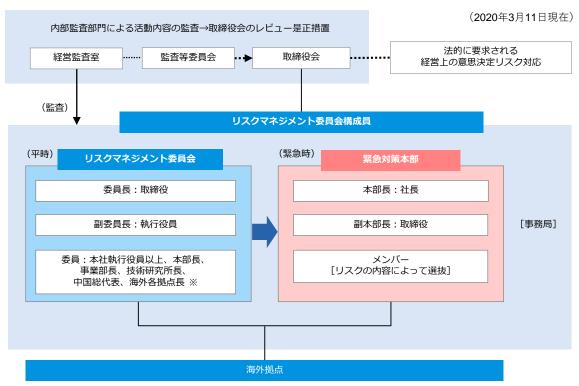
リスク管理体制

内部統制基本方針に基づき、リスク管理を全社的に統括 する担当取締役及び当該業務を所管する部門を定め、リ スクの適切な管理のために必要な社内ルール・手順等を 制定及び整備するとともに、これらについて全社員への 周知・教育など必要な措置を講じております。

製品の安全

当社は、製品に求められる品質基準、安全要件、環境負 荷物質対応を満たすことは当然として、万一、当社製品 に不備や欠陥が発見されたときは、それを恣意的に隠す ことなくお客様に説明し対策を講じます。速やかな対応 によりトラブルの拡大を防止します。

リスクマネジメント委員会の位置づけ



※海外各拠点長は非常勤メンバーとする(リスクマネジメントに関して必要な情報共有は適時行う)

考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢、 環境法規制の変更及び金利・通貨・資材価格等 のマーケット流動性リスク など

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、 情報通信システム、知的財産権、労災、 設備災害、環境、労務、人権、風評、 サプライヤー、サプライチェーン

リスクマネジメント委員会の対応

- ① 人命(安全)確保
- ② コンプライアンス
- ③情報セキュリティ
- ④ 生産・供給停止 に分類・特定

それぞれのリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部 社員で連携を図りながら、マブチグループ全体のリ スク対策活動を継続的に実行する

など

情報セキュリティポリシー

マブチグループは、私どもの活動がステークホルダーの皆様にどのような影響を与えているかを真摯に見つめ、事業活動のあらゆる面で一層信頼される組織作りを目指しててります。当社グループは私どもが保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難等を防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めたすべての従業者が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、ここに情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティの確保に万全を期してまいります。

■体制

「リスクマネジメント委員会」を設置し、その活動を通じて、情報セキュリティに関する継続的な取り組み、評価、改善が可能な体制・仕組みを構築します。

■情報資産の保全・管理

情報資産を適切に分類、整理し、その重要性に応じた情報セキュリティ対策をとるとともに、情報の取り扱いについて細心の注意を払い、厳重に管理します。

■コンプライアンス

情報セキュリティに関する法令、社内規程及びお客様と の契約上の義務を遵守します。

個人情報保護方針

マブチグループは、個人を識別し得る情報(以下「個人情報」)を適切に取り扱い、保護することを重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき個人情報の保護に努めます。

ディスクロージャーポリシー

マブチグループは、株主・投資家の皆様に対して、当社の企業価値に対する適正な評価と信頼を得るため、公平・適時かつ明瞭な情報開示に努めます。また、当社の事業活動を幅広くご理解いただくため、情報開示の工夫・充実を図り、有用性の高い情報を発信してまいります。

■情報開示の基準

会社法、金融商品取引法「フェア・ディスクロージャー・ルール」等の関連法令及び東京証券取引所が定めている諸規則に沿って情報開示を行っています。また、法令・規則に該当しない情報につきましても、株主・投資家の皆様にご理解いただくために有用と判断した場合、公平公正、迅速且つ正確に情報開示を行います。

緊急事態発生時の対応訓練

災害等緊急事態発生時の安全確保や環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務の特性に合わせて様々なケースを 想定した緊急時の処置・通報訓練を実施しています。

マブチグループは、「管理職の初期行動・指示マニュアル」、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、及び「安否確認システム(本社全社員対象)」の導入などを行うとともに、緊急対策本部をはじめ、災害時に重要な役割を担う部門においてそれぞれ対応マニュアルを策定しています。

また、防災教育や各種訓練(避難・通報・消火、救急救護、安否確認、及び帰宅報告ほか)を定期的に実施し、 全社員が落ち着いて適切な行動をとることができるよう に努めています。









更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として使用している本社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域に対する給水支援を行う準備もしています。

備品・資機材や飲食料などの備え(本社)

- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用携帯電話
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコン ピューターシステム保護のため、必要な自家発電装置、 燃料、及び仮設トイレ
- 緊急避難時に必要なヘルメット
- ▶ 帰宅者に配付する飲料水
- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる量の飲食 料及びトイレ用水
- 設備・什器・備品などの転倒防止策
- 設備・什器・備品などの復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的とする機器・機材

など

企業活動を地震から守るための免震構造(本社)

免震アイソレーターの設置やフレキシブルジョイントなどにより、震度7クラスの大地震に対しても室内環境への被害を受けません。

左上:台湾マブチ その他:本社

教育支援活動

未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを 伝え、成長をお手伝いする活動に力を入れています。

ロボットコンテストへの協賛

未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発 展に寄与できることを願い、「高専ロボコン」、 「ABUロボコン」、「学生ロボコン」に協賛し、 大会運営支援やモーターの提供などを継続し て行っています。





高専ロボコン



ABUロボコン

モーター支援

学生ロボコン及び高専ロボコンへのモーター支援は、 累計で26,000個を超えています。

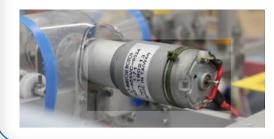




ギアヘッド付RS-555VC(上) ギアヘッド付RS-385PH(下)

JC/LC-578VA

ほか



夏休み工作教室

本社では、所在地域(千葉県・松戸市)の 小学4~6年生の児童を対象に「夏休み親子 モーター工作教室」を毎年開催しています。 多くの子供たちにものづくりの楽しさを体 感していただくこの工作教室を、今後も継 続して行います。



木工工作イベント

夏休み以外にも、5月に 開催された静岡ホビー ショー、8月末には千葉 県立現代産業科学館にて、 モーターを使用した木工 工作を楽しんでいただき ました。



静岡ホビーショ 工作イベント





現代産業科学館 工作イベント

出前授業

毎年、本社社員による理科出前授業を所在地域(千葉 県・松戸市)の小学校を対象に実施しています。また、 海外拠点でも日本人学校での出前授業を実施しています。 独自に開発した理科教材を用いた授業を受けた子供たち からは、「モーターの部品を手にとり、磁石の実験をし たことなどで理科が楽しくなった | と感想をいただいて います。





地元小学校での出前授業(本社)

日本人学校での出前授業(江蘇マブチ)

科学技術館での展示、イベント実施

科学技術館(東京都・千代田区)にて常設展示を 行い、モーターの基本原理や、暮らしの中で活躍 しているモーターとモーターを使った工作などを わかりやすく紹介しています。また、毎年秋に同館 との共催で、理科実験教室を開催しています。



科学技術館での理科実験教室(本社)

職場体験・会社見学

本社では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われ ている職場体験を受け入れています。また、海外拠点 でも社員の家族や地域の児童を招待する職場見学会を 実施しています。





中学生による職場体験(本社)

小学生の見学(本社)





特別支援学校生徒による見学(本社) 社員家族見学会(江蘇マブチ)

インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供し て、働くことを実感するとともに、マブチグループの考 え方を理解していただくため、国内外の学生のインター ンシップを継続して受け入れています。



柏レイソルアカデミーへの協賛支援

本社は、地域社会貢献活動の一環として、プロ サッカーチーム柏レイソルの選手育成組織である 柏レイソルアカデミーとユニフォームスポンサー 契約を締結し、青少年の育成を支援しています。



地域支援活動

マブチグループは、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動など を継続的に実施しています。



世界における地域支援

江蘇マブチの有志が、蘇州 市呉中区が主催する「青少 年の健康成長へのケアと支 援」を主目的とするボラン ティア活動に参加しました。

社会福祉活動

マブチグループでは、児童養護施設や老人 ホームへの慰問活動や寄付活動を継続的に実 施しています。

2019年は江西マブチの社員たちが経済的な支 援が必要なご家庭のために、衣類や靴、バッ グなどのチャリティー寄付を実施しました。 それと同時に、再利用により環境を守ること にも影響を与えることができました。





社会福祉活動

植林・美化・清掃活動

地域の美化・清掃活動を継続して行っています。





清掃活動

献血活動

マブチグループは本社をはじめ海外拠点においても 積極的に献血活動に協力しています。本社は日本赤 十字社より毎年感謝状をいただいています。





献血活動

地域における環境共生

本社敷地前庭には、地域における環境共生をコンセプトに『ビ オガーデン』を設け、松戸市の自然環境が松飛台工業団地に復 元されるよう考慮しています。ビオガーデンでは、外来種によ

る地域の生態系への影響を考え、 毎年、外来種であるセイタカアワ ダチソウを駆除し、かつ、従来か ら松戸市周辺に育つ植物として、 女郎花、男郎花などの野草を植栽 しながら、本来の生態系の復元を 目指しています。



隣地の八柱霊園や広域の自然豊かな矢切の渡しなどを含め地域 の生態系の繋がりを保つ『ビオトープネットワーク』としての 位置づけを考慮し、環境保護を意識した管理を継続しています。



社員とともに

人を企業にとって最も重要な経営資源と位置づけ、マブチグ ループに属するすべての人が、その能力を最大限に発揮し、 経済的な安定と心の充実を得られる職場づくりに取り組んで います。

人権尊重・安全衛生

マブチグループは、経営基軸の中で「地球環境と人々 の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」、行 動指針の中で「他人に対し公平、公正であり、他の社 員への協力と支援を惜しまない」と掲げております。 海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、 社員一人ひとりが健康で安心して活躍できる職場づく りに積極的に取り組んでいます。

人権の尊重

個人の基本的人権と多様な価値観、個性、プライバ シーを尊重し、人種、宗教、性別、国籍、身体障がい、 年齢等に関する差別的言動、暴力行為、パワーハラス メント、セクシャルハラスメント、いじめ等の人格を 無視した行為は行いません。また、児童就労、強制労 働は認めません。

労働・安全・衛生

事業活動において社員や地域の人々の健康を損ねるよ うなことが無きよう、必要に応じて行政機関や専門家 の指導なども仰ぎながら、社員や関係者の安全・衛生 面を最優先した職場環境の維持・向上を図ります。

個人情報の保護

個人情報の保護を遵守するため、社員の個人情報は重 に管理し、それらを業務上必要としない社員や、社外 の第三者に社員の個人情報を開示しません。

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

ファミリー・フレンドリー施策を実施

社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、 家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年 期といった人生の各段階に応じた働きやすく、多く の社員が長く働くことができる職場環境づくりを推 進しています。充実した各種休暇制度を設け、職場 の理解を得た取り組みにより、高い育児・介護休業 取得率を継続しています。今後も、ライフスタイル の多様化に対応しうる施策を実行し、各人がワー ク・ライフ・バランスを実現できる仕組みづくりと 働きがいのある職場環境の整備を進めてまいります。

働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業(3年)・介護休業(1年)
- ・育児・介護休業中の自己啓発支援
- ·配偶者出産時休暇制度:取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働 免除などの措置の導入
- ・フレックスタイム制度、裁量労働制を導入
- ·有給休暇取得促進
- ・福利厚生施設の充実
- ・テレワーク、サテライトオフィス、モバイルワー クの導入 など

ダナンマブチが 「安全衛生活動への積極的な貢献賞」を受賞

2019年5月、ダナンマブチは、安全労働局より、安全 衛生活動への積極的な貢献が認められ「貢献賞」を 受賞しました。



技術研究所が「千葉県労働局長奨励賞」を受賞

2019年10月、当社の技術研究所(印西市)が、安全の ためのリスクマネジメント及び化学物質リスクアセス

メントを実施し、7年以 上労働災害が発生してい ないことなどを評価いた だき、「安全衛生に関す る水準が高く優秀で他の 模範 | と認められ受賞に いたりました。



仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組んで いる企業として、厚生労働省より「トモニン」を取得 しました。

親や家族などの介護のために、 やむを得ず仕事を辞める介護 離職が増加している社会的な 課題解決に向けて、今後も仕 事と介護を両立できる職場環 境の整備を継続して行ってま いります。



仕事と介護の両立支援

また、「**カエル!ジャパン**| キャンペーンについて、 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進 のための国民運動に賛同、千葉県の「**社員いきいき!** 元気な会社宣言 | に参加しています。





ダイバーシティ

マブチグループは、ダイバーシティを積極的に進め、社 員が国や地域に限定されることなく、世界中で活躍でき る環境の構築に取り組んでいます。当社は以前から国籍 や性別を問わない採用・登用を行ってきましたが、近年 更に力を入れ、社員全員がグローバル感覚を持つことで、 それぞれの特徴を活かし、新しい価値を生み出すことを 目指しています。

「多様な人材活躍」の取り組み

当社が目指すダイバーシティの実現に向けて、様々な バックグラウンドをもった人材が活躍できる環境づくり に取り組んでいます。

女性・外国籍役員の登用

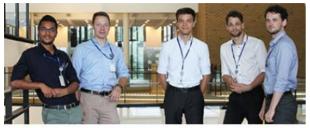
2020年1月、内閣府が発行したリーフレット「女性活躍 とSDGs~サステナビリティの実現に向けて~」による と、全上場企業(3.740社)のうち、女性役員比率が 10%を超える企業は887社あり、当社もリストに掲載さ れています。





外国籍社員の活躍推進

グローバル感覚をもった人材を積極的に採用しており、 数多くの外国籍社員が本社で活躍しております。 海外拠点現地の社員も、短期実務交流や各会議を通して 本社と連携し、グローバルな活躍をしています。



女性社員の活躍推進

女性の管理職登用拡大を目指し、女性のキャリア開発支 援を積極的に行っています。

多様な人々の活躍を支援

障がいや疾病をかかえている方も、個人の能力と適性に 応じた雇用の場に就いています。就業時間の柔軟な設定 や、施設のバリアフリー化、及び管理職教育などを行う ことで、社員がいきいきと働ける職場環境を整えていま す。

心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康でいきいきと働くことは、社会生 活の基礎であり、企業の活力向上にもつながると考えて います。本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を 実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタ ルヘルス講習会」の開催をしています。

2019年9月には、新東京病院の乳腺外科の先生をお招き して「乳がん検診における利益・不利益と遺伝性乳がん について」と題した講座を開催しました。また、NASス ポーツジム スポーツインストラクターの先生をお招きし て「タバコ・アルコール講座」を開催し、社員とご家族 を含めた皆さんの禁煙・減煙・減酒など健康管理のきっ かけづくりになり、呼吸法や簡単なストレッチも教えて いただきました。なお、本社は、2020年1月から会社敷 地内全面禁煙を実施しています。





乳がん検診講座

タバコ・アルコール講座

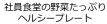
健康増進の日

社員の生活習慣病の予防・改善を目的として、毎月4回 「健康増進の日」を設定し、次のような取り組みを行って います。

- ・心身ともに十分な休養をとる(健康増進の日は17時まで に退勤を奨励)
- ・食事の量やバランスが整ったメニューで食生活を改善
- ・歩くことから始める健康づくり(本社に3基あるエレベー ターの稼働を1つに絞り階段利用を促進)
- ・禁煙と休肝日の習慣づけ推進









斉退勤日

「健康経営優良法人2020 (大規模法人部門)」に認定

2020年3月、経済産業省と日本健康会議が選定する 「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定さ れました。健康経営優良法人制度とは、地域の健康 課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康 増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実 践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制 度です。

2020 健康経営優良法人 Health and productivity

人材育成 適材適所で一人ひとりの成長を

人事評価制度

様々な役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に 把握し、会社と社員がともに成長することを目指し ています。この制度はマネジメントツールとしてだ けではなく、人材育成ツールとしても積極的に活用 しています。

- · 多面的人事評価制度
- · 自己申告制度
- · 複線型人事制度
- 賃金体系の明確化
- パワーハラスメントやセクシャルハラスメント などのコンプライアンス規程の明文化

人材教育

社員がグローバルに活躍できるよう、語学 (特に英語)をはじめ、「自ら学ぶ風土」を醸成し、仕事に役立つ知識を幅広く習得する機会の提供など、様々な教育支援を行っています。

・役員から新入社員までの各階層を対象に、多様な 視点で研修を実施





· 海外拠点社員実務交流





- ・TOEIC・CASEC受験の機会提供、TOEIC対策講座の開講、短期留学制度、海外トレーニー制度、オンライン英会話システム利用の機会提供などを通して、グローバルコミュニケーションツールである英語力を強化
- · 自己啓発促進支援
- ・資格取得奨励制度
- ・自主的に学べる各種公開 講座の開催
- ・多目的自習室の設置
- ・社内図書貸し出し など



多目的自習室





読書コーナーとおすすめ書籍の紹介

「第3回日経スマートワーク経営調査」3.5星に認定

2019年11月、働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第3回日経スマートワーク経営調査」において3.5星を獲得いたしました。

NIKKEI Smart Work



2020

働き方改革を促進

「マブチの働き方改革」は、働き方の選択肢を増やして、 社員一人ひとりが自分に合った働き方を実行することで、 会社全体の生産性を高めることを目指しています。 会議の効率化、報告手段の標準化、資料の電子化などこれまで社内への浸透を図ってきたもののほかに、2019 年からテレワーク・サテライトオフィスの本格導入や、 社内レイアウトの変更(一部フリーアドレス制を実施)、 ITツールの充実など益々進んでおります。



フリーアドレスにより コミュニケーションが活性化



都内サテライトオフィス

社員や家族が楽しめるイベントの開催

本社では、社員のコミュケーションの円滑化と一体感の 醸成を目的に、ガーデンパーティーや所属対抗ボウリン グ大会などのイベントを行っています。

また、海外拠点のおいても、社員が参加できるスポーツ 大会や社員旅行、文化祭などのイベントを定期的に実施 しています。







-ィー バドミントン大会(東莞マ

環境マネジメント

本社及び生産拠点で「環境マネジメントシステムISO14001:2015」の 認証を取得しています。マブチグループ全体及び、本社・各拠点・各部 門などそれぞれにおいて環境目標を設定し、徹底したPDCA管理を行 い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。

環境マネジメントシステムの運用

マブチグループでは、取締役が品質・環境統括として、 グループ全体を統括し、本社の品質保証本部長が環境 管理責任者としてグループ全体の環境マネジメントシ ステムを管理しています。

本社では「環境管理委員会」を設置し、本社の環境管 理責任者が委員長となり、部長・室長で構成されたメ ンバーで、マブチグループの環境方針、環境目標、施 策などの審議、決定を行います。

また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、 省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策 を提案し環境保全活動を推進しています。

環境監査

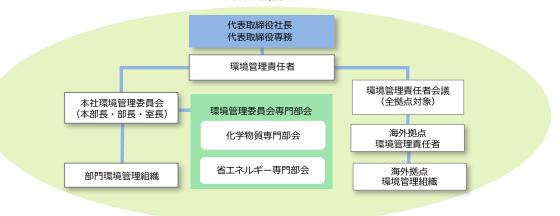
マブチグループの環境マネジメントシステムが、ISO規 格の要求と合致しているか、有効に運営されているかに ついて、審査登録機関(第三者)及び社内の監査部門

により定期的な監査を行 っています。これらの監 査を通じて、環境管理レ ベルの継続的な維持・向 上を図っています。



ビューローベリタス社による審査(本社)

環境管理組織図



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシス テムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

- 1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、 事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
- 2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 СО2の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル 及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は 可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する"グリーン調達"を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
- 3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。

4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社 代表取締役社長 CEO

制定: 1998年9月27日 改訂: 2013年3月28日

大越 博雄

CSR調達

製品の原材料・部品などをお取引先様から調達する際に、法令・規制、 及びお客様要求に加え、マブチグループ独自の基準を設けています。こ れらに定められた環境禁止物質について厳格に管理運用を行い、環境負 荷の少ない部材を優先的に使用しています。

各種法令の遵守

欧州RoHS指令、欧州ELV指令、欧州REACH規則制限物 質・SVHC(高懸念物質)、日本の化審法※1 第一種特定化学物 質、GADSL(自動車業界自主基準)、その他の法規制、お客 様からの要求、マブチグループ自主基準などによる、規制 物質の追加、禁止ランクの変更など、将来を見据えた対応 を行っています。

また、武装勢力の資金源となっている紛争鉱物※2の不使用 をお取引先様にも要請し、部材調達に関する紛争鉱物調査 の結果をお客様に回答しています。

日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境負荷物 質の使用・保管状況の監査活動に対する積極的な取り組み により、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、 環境事故は一度も発生しておりません。

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を 進めてまいります。

※1 化 審 法 …化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 ※2 紛争鉱物 …現時点で3TGと呼ばれる4鉱物に対応

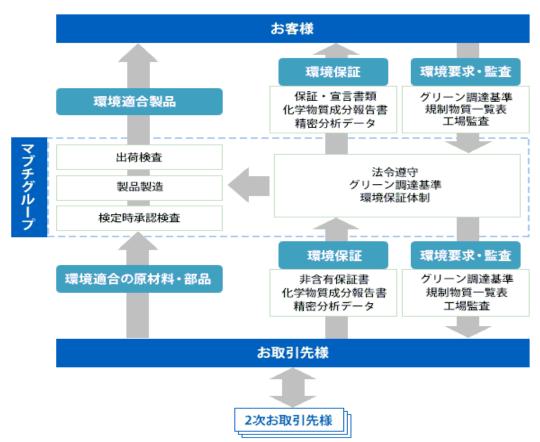
グリーン調達の推進

昨今の調達活動では、原材料の資源採取から、製 造・加工、流通・販売、消費・使用、及び廃棄・ リサイクルにいたる製品ライフサイクルにおいて、 環境負荷の少ない製品の開発に取り組むためには、 自社だけの環境保全活動では十分とは言えません。 そこで、お取引先様の各種環境への取り組み状況 も評価し、お取引先様とともに、環境負荷の低減 や環境リスクの回避を図っています。

下図のように、お取引先様には、グリーン調達活 動を実施のうえ、環境活動調査表とともに、原材 料・部品に環境禁止物質が含まれないことを保証 する書類を提出いただき、お取引先様の環境負荷 物質の使用・保管状況を確認するための環境監査 も積極的に実施しています。

更に、マブチグループで使用している全部材につ いて、環境禁止物質が含まれていないかの分析調 査も定期的に行っています。

グリーン調達フローチャート



環境保全の取り組み

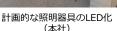
環境に優しい製品を作り出すことだけでなく、開発・設計から生産工程・流通に至るまでのサプライチェーン全体にわたって環境負荷の低減をはかることこそが「クリーンなものづくり」であると考えています。

継続的な省エネルギーへの取り組み

本社における旧式天井照明器具のLED化や、通期でのエアコンの設定温度管理の徹底、電気式給湯利用の制限などにより、全社的な省エネルギー対策を計画的に継続しています。

また、電力使用量が増加する夏期の電気使用状況については、社内イントラネットや工場内に掲示することで、節電意識の向上に努めています。







電気式給湯器の時間管理 (高雄マブチ)

生産設備の設計・導入時における環境対応

マブチグループでは、すべての生産拠点において、生産設備の導入の際には、以下の項目について多面的な環境影響評価を行い、生産設備機器の導入計画を立案しています。

- 1. 使用禁止物質の有無
- 2. 電力・エアー・用水等の使用量
- 3. 燃料消費量
- 4. 大気汚染物質・オゾン層破壊物質・汚水の排出量
- 5. 振動・騒音水準
- 6. 労働安全衛生法が適用される廃棄物・有害物質の排出量
- 7. 設備廃棄時における有害物質漏出の可能性有無
- 8. 有害物質回収の指示・説明の有無

これらの検証を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

海外生産拠点における自然エネルギー利用

中国の道ジャオマブチ、東莞マブチにおいては、太陽 光発電システムにより年間約60万kWhの電力を発電し、 拠点内で使用しています。自然エネルギー利用により、 地球温暖化ガスである二酸化炭素(CO₂)排出の削減 に取り組んでいます。



屋上に設置された太陽光発電パネル

環境関連指令への対応

私たちの製品であるモーターの生産においては、各種環境関連指令への対応に加え、当社独自の規程順守を徹底することで環境保全にグループ全体で取り組み、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、環境事故は一度も発生しておりません。

環境の歩み

1993年 「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を 犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを

明文化

1997年 環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理

委員会」を設置

1998年 マブチグループの「環境基本方針」を制定

1999年 ISO14001の認証取得

2000年 グリーン調達活動開始。モーターのカドミウムフ

リー化代替材選定評価完了

2001年 「環境報告書」の発行を開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了

2002年 六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始

2004年 最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工

2006年 海外生産拠点で「グリーン調達説明会」を開催

2008年 「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更 (社会的な取り組みについても掲載)

2012年 環境基本方針を「マブチグループ環境方針」に改訂

2015年 環境に配慮した新工場「メキシコマブチ」を竣工

2018年 環境に配慮した新工場「ポーランドマブチ」を竣工

2018年 「メキシコマブチ」にて、ISO14001の認証取得

2018年 欧州RoHS指令の10物質保証開始

2019年 弊社ホームページにESG情報をリニューアル公開

環境コミュニケーション

環境への取り組みに関する考え方や、環境マネジメント活動の情報を社内外に発信して社員の環境意識を高めるとともに、広く社会の皆様に、マブチグループの環境保全への姿勢と取り組みへのご理解をいただいております。

社会・環境報告書の発行及びホームページによる環境情報発信

ホームページ上「ESG情報」コンテンツにて、マブ チグループの取り組みをSDGs達成に向けた取り組み に関連づけて、よりわかりやすくリニューアルいたし ました。

同サイトで公開している「社会・環境報告書」も含めて、マブチグループの社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、皆様とのコミュニケーションを更に充実させてまいります。

グループ内環境コミュニケーション活動の展開

マブチグループ全体で、環境情報の共有化により、 環境保全活動を効率的に行うことを目的として、本 社及び海外生産拠点の環境管理責任者で構成される 「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上で、最新の環境情報を社内報に掲載して社員の環境意識の向上を図っています。

環境管理責任者会議を

拠点とテレビ会議で つないで開催



環境教育

社員の環境に関する意識の向上を図るために、階層別、 目的別の環境教育を実施しています。





廃棄物分別教育



化学物質取扱教育資料

環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。本社及び海外拠点から選抜された1,000点以上の作品の中から選ばれた受賞作品をイントラネット上で共有し、環境意識をより一層高める取り組みとなっています。

【環境ポスター部門 1位の標語】

地球に対するグリーンを守る為に以下の"3つゼロ"を実施しましょう!

- 1. 落下品ゼロ。
- 2. 不良ゼロ。
- 3. 勝手にゴミ捨てゼロ。

【環境ポスター部門 1位】







安全啓蒙ポスター作品コンテスト

マブチグループでは2018年以降、毎年「安全啓蒙ポスター作品コンテスト」を開催しています。労働災害への注意喚起をテーマに、本社及び海外拠点より一次審査を通過した55作品の中から最終審査を行い、17点が受賞作品としてイントラネット上に掲示されています。このような活動を通じ、労働災害の無い安全で快適な職場づくりを呼びかけ、本社及び生産拠点の労災予防に役立つ取り組みを行っています。

【安全啓蒙ポスター 1位】



【同 2位】(2作品)



Environment

	項目		範囲	単位	2015	2016	2017	2018	2019
	総エネルギー投入量	電力	連結	百万kWh	184	195	206	213	203
		都市ガス	連結	ton	396	753	745	697	617
		液化石油ガス(LPG)	連結	ton	75	81	78	73	71
エネルギー利用の効率化		ガソリン	連結	kl	281	250	235	216	187
		軽油	連結	kl	264	185	150	160	147
		石炭	連結	ton	0	0	0	0	0
		新エネルギー(太陽光発電量)	連結	百万kWh	-	-	-	0.58	0.68
	水資源投入量	総使用量	連結	∓m³	791	801	808	846	807
資源の保護(水資源)		上水使用量	連結	∓m³	756	763	768	800	765
		地下水使用量	連結	∓m³	34	38	40	46	42
		雨水使用量	連結	∓m³	4	4	4	4	4
温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量	CO2排出量	連結	t-CO2	95,497	100,737	103,533	103,983	97,716
廃棄物の削減	廃棄物等総排出量		連結	ton	43,029	42,539	43,936	44,356	45,038
	廃棄物最終処分量		連結	ton	1,292	1,227	1,411	1,495	1,390
	廃棄物リサイクル量		連結	ton	41,737	41,312	42,525	42,860	43,649
	廃棄物リサイクル率		連結	%	97.0	97.1	96.8	96.6	96.9

本データにはポーランドマブチは含まれておりません

温室効果ガス (CO2) 排出量削減の取り組み

マブチグループ全体のCO2排出量は、モーター生産量の増加や工場設備の増設、本社社員の増加などに伴い増加傾向にあるものの、それぞれの施設の使用状況の違いに合致した目標を設定し、生産の効率化と省エネルギー対策により排出量の削減に取り組んでいます。具体的には、本社では総労働時間あたりのCO2排出量、モーター生産拠点では生産効率※あたりのCO2排出量、部品生産拠点ではCO2排出量にてそれぞれ削減を実現しています。(折れ線グラフは2015年を100%とした推移を表しています)

※生産効率 = P(製品)/MH(工数)で算出した値







Social

項目		範囲	単位	2015	2016	2017	2018	2019	
	従業員数	国内	本社	人	762	781	806	824	84
		グループ全体	連結	人	24,419	23,768	23,936	23,476	22,0
	新卒採用数		本社	人	22	22	26	30	
	w.u=m.tv#	全体	本社	人	51	68	58	72	
	新規雇用者数	女性	本社	人	8	14	8	12	
	新規雇用者の女性比率		本社	%	15.7	20.6	13.8	16.7	22
	離職者数(定年退職含む)		本社	人	15	16	20	29	
	女性管理職数		本社	人	3	3	2	4	
	女性管理職比率		本社	%	3.7	3.9	2.1	4.2	
すべての人が活躍できる環境	TOEIC延べ受講者数		本社	人	793	732	808	844	8
	資格取得奨励対象者数		本社	人	25	36	21	32	
	公開講座開催回数		本社	<u> </u>	6	6	6	3	
	障がい者雇用数		本社	人	12	13	16	17	
	障がい者雇用率		本社	%	1.99	2.02	2.35	2.30	2
	外国籍社員数		本社	人	9	9	12	20	
	平均年齢		本社	歳	44.0	43.5	43.7	43.5	4
	平均勤続年数		本社	年	19.3	18.6	18.7	18.0	1
	海外関係会社の現地籍社長の人数(割合)		連結	人(%)	5(25.0)	5(25.0)	6(30.0)	8(34.8)	9(39
	月平均実労働時間		本社	時間	173.3	173.5	173.7	174.0	16
	月平均残業時間		本社	時間	25.1	25.2	25.5	25.6	1
	年次有給休暇の取得状況	付与数	本社	В	20	20	20	20	
		取得数	本社	日	13.1	13.0	13.1	12.8	1
		取得率	本社	%	65.5	65.0	65.5	63.9	7
	産休取得者数		本社	人	3	0	0	2	
	育児休業取得者数		本社	人	3	0	0	2	
	育児休業取得者取得率		本社	%	0.39	0.00	0.00	0.24	0
安全で健康的な職場環境	育児休業後復職率		本社	%	_	100	-	_	
	配偶者出産時休暇取得者数		本社	人	24	20	29	25	
	介護休業取得者数		本社	人	0	0	0	1	
	テレワーク利用者数 (割合) 2018年6月制定		本社	人(%)	_	-	_	35(4.9)	129(15
	短時間勤務制度利用者数		本社	人	2	4	3	3	
	定期検診受診率		本社	%	94.4	95.5	95.9	95.8	9
	メンタルヘルス調査実施率		本社	%	_	94.6	96.7	97.7	9
	労働災害度数率※		本社	度数率	1.35	0.00	0.60	0.00	0
	社会貢献活動支出額	総額	本社	百万円	36.0	32.0	31.0	31.0	3
地域社会の発展・保護		寄付金	本社	百万円	2.0	5.0	4.0	3.0	

ESG DATA



Governance

項目			範囲	単位	2015	2016	2017	2018	2019
	取締役	合計	本社	人	8	8	8	8	13
		うち社外取締役	本社	人	2	2	2	2	6
		うち女性取締役	本社	人	0	0	0	0	2
		うち外国籍取締役	本社	人	0	0	0	0	1
	取締役会開催回数		本社	0	18	18	25	30	31
	社外取締役出席率		本社	%	100	94	100	93	89
	最年少取締役年齢	(社内)	本社	歳	46	47	48	49	50
透明性の高い企業運営	最年長取締役年齢	(社内)	本社	歳	70	71	57	58	59
	取締役平均年齢	(社内)	本社	歳	55	56	54	54	55
	監査等委員	合計	本社	人	4*	4*	4*	4*	4
		うち社外監査等委員	本社	人	3%	3:	3※	3%	3
	執行役員		本社	人	9	10	10	15	14
	取締役報酬		本社	百万円	300	391	377	391	382
	監査等委員報酬		本社	百万円	35※	41 ※	43 ※	44※	47
	政治献金・ロビー活動等支出額		本社	円	0	0	0	0	0
	公正取引委員会や関係官庁からの行政処分		連結	件	0	0	0	0	0
	コンプライアンスに関わる刑事処分		連結	件	0	0	0	0	0
国内外の法令・倫理の遵守	法令違反による操業停止・営業停止		連結	件	0	0	0	0	0
	価格カルテルによる摘発		連結	件	0	0	0	0	0
	贈賄による摘発		連結	件	0	0	0	0	0

※ 監査等委員会設置会社移行前の監査役を対象

発行:2020年6月 <お問い合わせ先> マブチモーター株式会社 管理統括 人事・総務本部 〒270-2280

千葉県松戸市松飛台430 TEL: 047-710-1111

